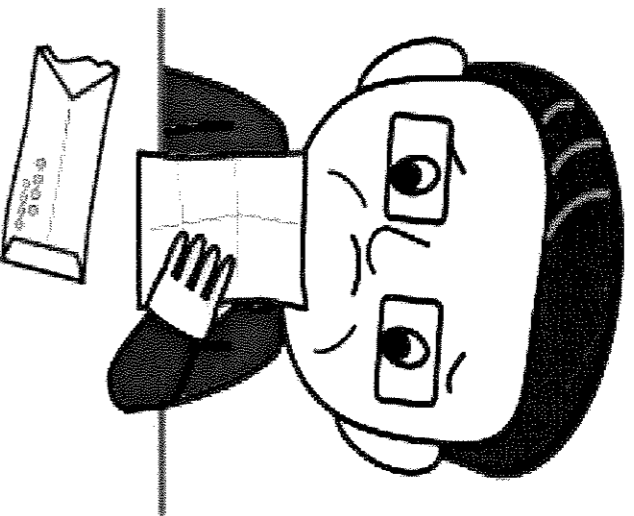


第1回記念大会

～ある日突然、障害者になったあなたへ～

『失語症者の働きたい！を考える』

失語症者の就労はなぜ困難なのかを検証する



© Rika 2009

2012年2月4日(土)

◆時間 : 13時～16時 (受付12時半～)

◆参加費 : 無料

◆場所 : 茨城県龍ヶ崎市文化会館大ホール

失語症とは

- 1) 脳卒中や頭部外傷等で脳言語野の損傷で起こる障害。高次脳機能障害の1つ。
- 2) 聞く、話す、書く、読む、計算するということが、困難になる。その程度・症状は様々、病前と同じ様に回復することは非常に難しいが、訓練によりある程度の機能回復が可能。また、代償的コミュニケーション手段を身につけることが可能。
- 3) 文字版を指差すこと、手話をするなど、等も難しい。(筆談は出来ない)
- 4) 軽症者は簡単な内容なら言葉と文章で話すことが出来るが、重症者は言葉のやり取りが全く困難。
- 5) 思考力や記憶力、判断力は保たれ、この点で痴呆や、精神障害とは異なる

皆様へ

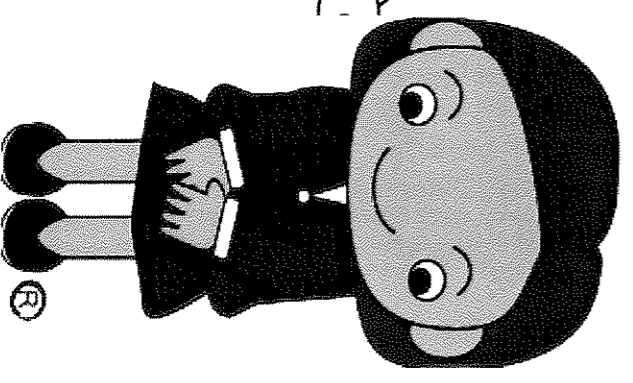
自分か脳の損傷を受けたとき、どのような社会資源が必要なのか、ということ、私どもの訴えから汲み取ってください。

コミュニケーションの代替手段を持たない失語症者にはどのような社会資源があるのか探ってください。言語障害のある人の生活にはありとあらゆる不便があります。その不便をどう解消するのか、一緒に考えてください。

福祉というのは、障害者を見てから、それぞれに適した制度を作っていくかなければならないものではないでしょうか。社会全体を、障害者が住みよい環境に変えて行く必要があるのです。

障害者に優しい社会は、だれにでも優しい社会になります。

講演会終了後懇親会があります。ご参加ご希望の方、前もってお申込みください。
(懇親会参加費 5000円)



◆問い合わせ先◆

1) 第1回記念講演会開催責任者：赤嶺愛子 090-4619-1917

2) 〒203-0014 東京都東久留米市東本町 5-25

NPO 法人全国失語症友の会連合会事務局内：電話 042-420-9427・FAX042-420-9428

全国失語症患者家族会代表：園田尚美 e-mail:sonoda@japc.info